

「回復期リハビリテーション病棟における高齢脳卒中患者の排尿自立に至った要因
および入院から退院までの排尿方法と排尿機能の変化に関する研究」
への協力のお知らせ

この度、医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院は、愛媛大学の研究「回復期リハビリテーション病棟における高齢脳卒中患者の排尿自立に至った要因および入院から退院までの排尿方法と排尿機能の変化」に協力し、研究対象となる患者様の診療記録の情報を提供することになりました。対象になる患者様は脳梗塞・脳出血いずれかを発症後2か月以内に急性期病院から松山リハビリテーション病院の回復期リハビリテーション病棟に転院してきた65歳以上の患者様のうち **2022年9月から2024年8月までの2年間**に退院した方です。本研究に関して、自身が研究対象となっているかどうかについての確認したい場合は、以下の連絡先にご連絡ください。

診療記録の情報の収集は、インターネットに接続できないパソコンを用いて行います。収集した情報は、個人が特定できないように処理し、ロック付きUSBに保存して愛媛大学大学院医学系研究科の研究責任者が保管します。**個人を特定できる情報が外に漏れることはありません。**また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。なお、**診療記録の使用にご了解いただけない方は 2024年11月末まで に下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。**本研究にご協力いただけない場合におきましても、今後の診療など患者様・ご家族様に一切の不利益はございませんのでご安心ください。研究途中・研究終了後いつでも対象者様やご家族からの問い合わせには対応できます。

この研究は、高齢脳卒中患者の排尿自立に向けた回復期リハビリテーション病棟における効果的な排尿援助方法の検討を目的としたものです。この研究により、今後の診療やケアの発展に役立つことができると考えています。何卒、研究の趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。

使用する情報は以下の通りです。

1. **基本属性**：入院時年齢、性別、身長、体重、認知症の有無、要介護度、既往歴の有無
2. **入退院に関する情報**：今回の入院の診断名と発症日、入院期間、退院先、本人と家族の退院先の意向
3. **身体機能**
 - 1) 入院時の身体機能：利き手、麻痺側、麻痺レベル、高次脳機能障害の有無、その他障害の有無
 - 2) 入院中のADL身体機能の変化：機能的自立度評価表（FIM）の合計点
4. **排尿機能**
 - 1) 排尿動作能力
 - (1) 移乗動作、移動動作、トイレ動作：FIMの得点と自立度
 - (2) 移動手段：独歩、杖、歩行器、車いす
 - 2) 認知機能
 - (1) トイレの場所の認識の有無、尿意の有無、尿取りパッド汚染の知覚の有無

- (2) 排尿コントロール：FIM の得点と自立度
- (3) 精神状態短時間検査（MMSE）の合計点
- 3) 下部尿路機能：尿閉の期間、導尿の有無、一日の排尿回数（月平均）と頻尿の期間

5. 排尿方法

- 1) 排尿方法：尿道留置カテーテル、ベッド上排尿（おむつ、尿器）、トイレ
- 2) 尿道留置カテーテル抜去時の情報：留置理由、留置期間、最終抜去理由、抜去後の排尿方法
- 3) ベッド上排尿開始時の情報：ベッド上排尿期間、ベッド上排尿理由
- 4) トイレ排尿開始時の情報
 - (1) 入院日からトイレリハビリ開始までの期間
 - (2) 入院日から病棟でのトイレ排尿開始までの期間
 - (3) 病棟でのトイレ排尿開始日の介助人数
 - (4) トイレ誘導のタイミング
 - (5) 病棟でのトイレ排尿のきっかけ
 - (6) 病棟でのトイレ排尿開始から退院までの期間

※入院時と退院時は排尿方法に加えて、排尿の自立と非自立を評価する。

6. 便の生成・排出に関する情報

- 1) 食事に関する情報：食事形態、食事量、一日の平均飲水量
- 2) 下剤に関する情報：下剤の有無、一か月あたりの下剤の平均使用回数、下剤の種類
- 3) 排便に関する情報：一か月あたりの平均排便回数、便意の有無、便の性状、便量

【お問い合わせ先】

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程

地域健康システム看護学講座

二川菜奈

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel : 089-960-5419(陶山研究室直通)

Mail : k451006b@mails.cc.ehime-u.ac.jp